

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 9日

事業所名 きりしま子ども発達支援センター 実樹

保護者等数(児童数)78 回収数 63 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	62	1	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	62	0	0	1	○知らない職員もいるが、知っている職員は良い。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	53	6	0	4		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	60	2	0	1		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	59	4	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25	11	2	25		○現在はありません。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	63	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	61	2	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	60	2	0	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	20	2	21	○あまり参加できていない。	○職員にアンケートをとった結果、感染症の影響もあり家族会の開催を見送りました。R5年度は利用者に好きなことを書いていただき文集を作成し、文集を通して交流を図ります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50	3	0	10		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	61	0	0	2		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	44	7	0	12	○メール等で連絡してもらえるので、日常でも緊急時でも安心につながっている。 ○ホームページなどを見ることはあまりないので、メール配信などがある方がよい。	○広報誌を年3回発行し、事業所に掲示している。広報誌、活動報告、職員の研修体制、事故報告などの情報をホームページ上でも発信している。インスタグラムでもホームページの更新情報などを随時発信している。じゅうぶんに周知していただけるよう、広報誌の掲示場所の再検討、利用者への一斉メールでのお知らせ等検討していきたい。
14 個人情報に十分注意しているか	60	0	0	3			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 9日

事業所名 きりしま子ども発達支援センター 実樹

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	47	7	0	9		○今年度、避難確保計画を作成し、各事業所で掲示しています。防犯・感染症マニュアルは既に作成してあります。契約時に避難訓練や感染症についての説明を行っています。4月にマニュアルの掲示を一斉メールで保護者にお知らせします。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	47	7	0	9		○避難訓練を月に1回実施しています。今年度は利用者さんに参加していただく訓練を3回行いました。来年度は、保護者への訓練実施の報告(一斉メール)を検討します。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	57	6			○子どもの気分による。	
	18 事業所の支援に満足しているか	62	1	0	0	○2歳の時から相談にのってもらい、何とか今があると思っている。 ○本人に合わせた支援、親の心配事にも親身に対応してもらっている。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。